

交通安全母体が誕生

事敵防止のお母さんの力結集



交通安全を実現しようとお母さん方が力を結集「新津市交通安全運動」に、同時に、社会的な交通安全運動にも積極的に参加して効果をあげてゆこうとするものです。そして全市民の運動として盛り上げてゆくため地域的にも職域的にも

新津市交通安全母の会

役員（敬称略）
大人も規則を中

よい子

交通規則を一番守らな

い人たちは、自転車乗りと大人の歩行者だといわ

れています。

犠牲者を自転車乗りや歩行者から出してはいますが

事故防止を実現させるた

をよ

があります。

その
点、見

則をよ

てい
る
力
維
國

兒や兒

交通安全

全對策
と真劍

新成人待望の講座

最高の講師陣そろえて

母子センターの一年半

二百余名の赤ちゃん誕生

表6		指導部門		活動状況		事業者					
		実施 回数	受診者数 患者数	医師 119	従 員 431	産 科 126	助産 113	栄養 3	その他 30	計 238	
乳児診療	57	3,605	59	431	126	113	3	30	238		
幼婦検	51	1,208	53	20	—	—	—	—	31		
児検検	51	96	10	20	—	—	—	—	2		
検検検	16	675	7	28	—	—	—	—	16		
乳児診	7	15	2	8	9	—	—	—	4		
食糧給	2	10	2	3	—	—	—	—	3		
乳児診	2	154	—	7	—	—	—	—	—		
養生課	2	59	—	2	—	—	—	—	—		
教養部	67	401	—	86	—	—	—	—	—		
養育部	62	402	—	33	—	—	—	—	—		
産科助	4	29	1	13	—	—	—	—	4		
計	225	6,462	195	757	126	59	74				

月別	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
39年	(1) 82	—	—	—	—	2	9	13	10	10	16	(1) 12	10
40年	(3) 134	(1) 18	10	21	13	(1) 18	9	16	16	—	—	—	—

注 () 内は分娩前に転送したものの。

＜表2＞ 母子センターでお産した人の地区別区分

旧新津	旧金津	旧小合	旧新関	他市町村
139	14	20	3	36

注 39年5月～40年9月末まで

＜表3＞ どこでお産したか

年 次	総 数	母子センター	病院・医院など	自家・生家
38 年	860	—	599	261
39 年	874	71	657	146
40年1～6月	469	76	393	—

普通入所料		双生児の場合 の加算額	特別入所料	
市内居住者	市外居住者		分娩前 1日につき	分娩の 経過
10,500円	12,500円	3,600円	500円	

表5> 指導部門の日程		
項目	対象	日時
健康相談	乳児	毎週火曜・日午前9時～11時半
	児童・少年	毎週木曜・日午前9時～11時半
検診	乳児 3ヶ月児・5ヶ月児・8ヶ月児	毎週第2火・水・木曜日 午後1時～3時
	妊婦	毎月第4火・水・木曜日 午後1時～3時
	産後・産婦・乳児	毎月第2月曜日 午後1時～3時
	幼児(満3才児)	秋・冬2回
		隔月第2金曜日
母親学級	初妊婦	隔月第2金曜日
離乳食実習会	満4ヶ月児の哺育者	毎月第4金曜日
新出生児教室	新出生児	3ヶ月毎
新乳児教室	新乳児	随時

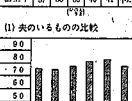
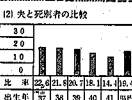
△宝くじも発売
 県下に生息するネズミは推定一千万匹といわれ年間の家畜損害も千七億円に達するとの推測されています。

最近地震や水害などで私たちの生活環境が、大分あれていたり、ネズミにとっては絶好の繁殖条件がそろって、たわけですが、いよいよ最晩年も終り、ネズミ繁殖の仲間を迎えたので、ネズミは「県下一斉ネズミ除根大会」を展開します。

当市もこの運動に積極

全市一省之半、區余

県下に生息するネズミ」的に参加し、次の要領で



根も葉もないひのえうまの迷信

せることは単に口先の説明では必ずずか
で、別表のような実
査の結果をグラフに
あらわしてみまし
この調査は、群馬
城山麓一帯の一町七
の保健婦が約八万人
いて調べたものであ
この表に示すとおり
のえうま年「生れで
からという心配は全
いことがおわかりい
けると思います。